

令和2年度決算の問題点

福生市9月市議会が終わりました。令和2年度の決算審査があり、日本共産党会派は、4つの問題点を指摘しました。

減り続ける人口に新たな有効策なし

- ① 東京26市中、福生市が最も人口減少が深刻（特に子どもと子育て世代の転出が多い）なのに、新たな有効策がなかったこと。（学校給食費無償化、就学援助費の支給世帯を他市並み拡大、子育てマル得カードを市民参加型に、国保税子どもの均等割の廃止または半額、などを求めましたが、取り入れませんでした。）

減基金を市民サービス向上に活用をすべき

- ② 財源は十分にあるのに、市民サービス向上のために使わず、基金に貯め込んでいること。（福生市の市民一人当たりの基金残高は、並み居る財政力の強い他市を抑え、東京26市中4位です。）自治体の仕事は貯金を殖やすことではありません。財政破綻しないように目配りしながら、財源を有効に使って市民サービスを充実させることです。

市民の足、誰でも乗れる市内循環バス導入は待ったなし

- ③ 地域振興に不可欠な市内公共交通（誰でも乗れる市内循環バス）の導入を検討しなかったこと。東京のほとんどの自治体が、民間バス会社単独では採算が取れないので、補助金を出して市内循環バスを運行し、市民の足である地域公共交通を確保しています。お隣の瑞穂町も10月から福祉バスを発展させて市内循環バスを導入しました。

横田基地と市民の安心安全は両立しない

- ④ 米軍のアフガニスタンからの撤退は、軍事力で平和は守れないことを示しました。迷惑施設（騒音、落下事故、税収減、曲げられた五日市街道、市面積の3分の1を占有）である米軍横田基地について国の言いなりではいけません。横田基地撤去を、少なくとも、オスプレイ配備撤回を求めるべきです。

日本共産党 福生市議会議員
池田公三
いけだ こうぞう

がご相談に応じます。

日時は、お電話いただければ、調整いたします。



日本共産党
福生市議会ニュース

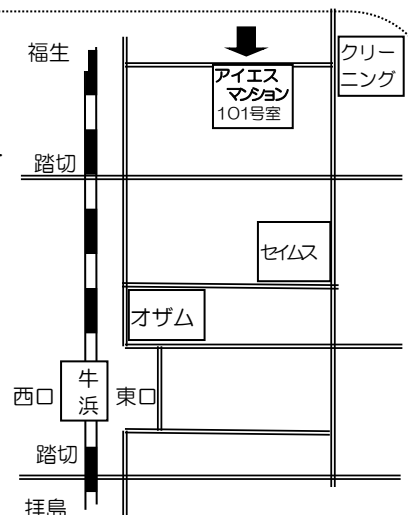
福生市議 池田公三
☎ 090-7946-5137
2021年 8月 号外

なんでも生活相談

10月のなんでも生活相談会のお知らせです。日々の生活で困っているのに、誰にも相談できずにいる方はいらっしゃいませんか。どうぞお気軽にご相談ください。

日時 10月13日（水）午後7時から

場所 池田公三事務所（駐車場あります）
福生市志茂115 アイエスマンション101号室
Tel 042-530-0705



新しい政権めざし、市民連合と4野党が政策合意

9月8日(水)、市民連合と4野党が、1~2か月後に迫った衆議院総選挙に向けて、ついに政策協定に合意しました。憲法を無視し、政治を私物化し、格差と貧困を広げ、新型コロナウイルス感染症にも右往左往、ついに政権を投げ出した菅自公政権。自民党内の顔を変えても何も変わりません。私たちは市民と野党の共闘で新しい連合政権をめざします。政治はきっと変えられる！ がんばります

野党4党の共通政策と政府の施策の違い	
野党4党の共通政策	政府の対応
医療費削減政策の転換、医療・公衆衛生体制の迅速な整備 経済的な打撃を受けた人や企業を救う万全の財政支援	新型コロナ 病床削減や病院の再編・統合につながると指摘される改正医療法を成立 企業への持続化給付金や家賃支援給付金を打ち切り
消費税減税や社会保険料の見直し。低所得者層や中間層への再分配の強化	格差是正 消費税減税を否定、一部高齢者の医療費の窓口負担割合増。定額給付金の再給付は後ろ向き
安全保障法制や特定秘密保護法などの違憲部分を廃止 沖縄県名護市辺野古の米軍新基地建設を中止	外交・安全保障 集団的自衛権の行使容認を含めた安保法を制定 辺野古の新基地建設は米軍普天間飛行場の危険性除去の「唯一の解決策」と主張
再生可能エネルギーの拡充で原発のない脱炭素社会を追求	原発 脱炭素社会に向け、原発は依存度を低減しつつ最大限活用

東京新聞(9月9日付)から転載



後列左から山本(れいわ)、福島(社民)、志位(共産)、枝野(立憲)、山口(市民連合)他、市民連合の皆さん